ぺた語義

【第 39 回】

contents

［コラム］
情報処理を学ぶ学生の皆さんへ
…不破　泰

［解説］
高等学校情報科教員の現状
―その問題点と我々にできること―
…中野由章，中山泰一

［解説］
認定情報技術者制度（1）
～制度の概要～
…旭　寛治

基般 Column

情報処理を学ぶ学生の皆さんへ

情報処理を学ぶ学生の皆さん，自分の殻を破って社会に出ましょう．

情報処理技術は，さまざまな分野技術の横串になる技術です．工学分野にとどまらず理学，農学，医学，経済学，社会学，芸術などさまざまな分野の技術を組み合わせ，そこに情報処理技術を駆使して新たなイノベーションを作るのが情報処理分野の応用です．ですから，情報処理を学ぶ皆さんは殻に閉じこもらず，いろいろな研究フィールドを見てまわり，社会の現場も見てください．社会には情報処理技術を必要としている多くのフィールドがあります．

私の研究のひとつは無線ネットワークです．多くの方との連携のおかげで，今では長野県塩尻市に私たちが開発した 600 台以上の無線中継機からなる無線アドホックネットワーク網が形成されています．そして，子どもや高齢者の見守り，火災報知，バスロケーション，土砂災害警報，河川水位の監視，鳥獣害の検知システムが動いています．これらのシステムはすべて社会の現場がその必要性を教えてくれたものです．また，ここで開発したセンサネットワークは，センサ工学の研究者，土砂災害のメカニズムの知見を持つ土木工学の研究者との連携で産まれました．また，研究のためのフィールドを提供いただく自治体との連携も必要でした．多くの方との連携のなかで情報処理分野の新たな研究課題が次々に挙がり，情報処理技術の重要性がより明確になりました．

連携する分野と相手を探すのは大変です．自分の殻を破ると外の世界の圧倒的な迫力に自らを見失いそうになります．情報処理を学ぶ研究者としての自分の立ち位置を見失わない強い意志を持った上で，情報処理技術だけでは分からないことは，ほかの分野の研究者に教えてもらう．これが，連携の始まりです．

今年（2014 年）開催された全国大会のプログラムが学会の Web サイトに掲載されています．ぜひ見てください．そこに，あなたの想像を超える多くのフィールドがあることに気がつくでしょう．連携を模索するときには学会に参加してください．ほかの分野の研究者との交流や，情報交換，その上で連携のチャンスがあります．

情報処理を学ぶ学生の皆さん，自らの殻を破り社会に出ましょう．そこに，情報処理を学ぶあなたのアイディアが必要な沢山のフィールドがあります．そして，あなた自身も情報処理の奥の深さに気づきます．そこからがあなたの本当の研究の始まりです．

不破　泰（信州大学）

ロゴデザイン ● 中田 恵　　ページデザイン・イラスト ● 久野 未結

ぺた語義は pedagogy（教育学）を元にした造語です．常設の教育コーナーとして教育や人材育成に関する記事を広く掲載しています．ぺた語義に掲載された記事は，情報処理学会 Web ページの「教育・人材育成」からどなたでもご覧いただけます．